

## 議 事 録

内 容	峯小学校コミュニティハウスの今後について
日 時	令和5年11月1日（水）14時00分～15時45分
場 所	保土ヶ谷公会堂 1号会議室（41名参加）
出席者	教育委員会事務局 学校支援・地域連携課：課長（須山）、係長（高橋） 教育委員会事務局 学校計画課：課長（大塚） 保土ヶ谷区役所 地域振興課：課長（金子）、係長（渡邊）

(1) 教育委員会事務局よりあいさつ

(2) 教育委員会事務局より資料説明

(3) 質疑応答

●推計の児童数は、私学に通う子どももいるため、推計の値より下がるのでは。

→推計令和5年度の児童数は、令和5年5月1日時点での実数値。令和6年度以降は、令和5年5月1日時点での0歳～5歳までの人数に、転入出や私学へ通う児童などを加味した入学の率をかけて算出している。

●移設先の具体的な時期は決まっているか。年度をまたぐと人事異動で担当替えが発生するため知りたい。

→理想としては、令和7年度に代替施設が整備されていることだが、具体的な時期については現状決まっていない。来年の4月までに移設先を提示できるよう取り組んでいきたい。

●令和7年まで活動ができないということか。

→移設先も内部改修工事が必要なことから、場合によってはそのような期間が生じてしまう可能性がある。

●来年の4月から一時的に活動停止ということか。

→そのような状況です。

●移設の方向性について、意見が偏っていると感じている。私たちも子どもたちも活動を継続できる案を沢山検討していただきたい

●学級の人数上限はどうなっているか。

→現在の5、6年生が40人学級であり、1～4年生が35人学級。来年度は6年生のみが40人学級となり、令和7年度以降は全て35人学級。

→自分たちの時代は50人学級だった。例えば、一時的に35人学級を40人学級にする等の臨時措置を取ることはできないのか。

→市全体として段階的な35人学級を実施している。また全国的にも段階的な35人学級を実施しており、臨時措置を取ることは難しい状況。

次項あり

●児童数を1学級35人で割った学級数と、推計の学級数とでは相違があるが。

→学年ごとで算出しているため、単純に児童数を35で割った学級数とは異なる。現在は1年生が4学級、5年生が2学級、その他の学年は3学級の18学級。令和7～9年度は今の1年生が4学級で推移し、その他の学年が3学級の計19学級との予測をしている。

●令和10年度以降は減るのでは。

→推計では減少する見込みだが、星川の住みやすさ等を考慮すると現実的には数字が落ちてこないと予想している。現に令和3年度の0歳児は58人だったが、令和4年度の1歳児は89人と子どもが増えている状況。令和5年度の0歳児は68人だが、過去に増えている実績もあるし、この数字で落ちついていくかといった確定的なことは言えない。

→令和3年度の0歳児が増えた要因はどのように考えているか。

→マンションの建設等で新しい世帯が入り、子どもが増えていると予想している。

→この地域にコミハを建てる場所はないと言っていたが、マンションは建っている。

→コミハなどの市民利用施設の整備は、横浜市が保有している敷地のなかでの整備を検討していくが、民間の土地を買い取って整備をすることは想定していない。

→今後マンションの建設はあるのか。

→あるかもしれないし、ないかもしれない。大方は建ちきったと思っているが、戸建てもあるため、確たることは分からない。

●保土ヶ谷区の令和5年度の推計一覧を持ってきたが、それを見ると隣の帷子小学校は保有21教室のなか、普通教室で12教室、個別教室で3教室使用しているため、6教室分は余っているのでは。帷子小学校への移設は検討したのか。

→宮田中学校、帷子小学校への移設は十分に意見交換もして検討している状況。帷子小学校の余裕教室については、特別教室や国際教室等で使用しており、全く使用していない教室はない状況。ただ、そのなかで何とかコミハとして皆様で利用できるスペースがないかを検討している。

●自分は2か月に1回の理事会や年1回の総会でコミハを利用しているが、それ以外の利用状況が分からないため、教えて欲しい。

→平成30年は9,500人程度の利用があったが、コロナで利用者が減少した。その後、6～7割の利用者が戻ってきており、今年度は利用者が1万人を超える見込み。保土ヶ谷区の学校コミハのなかでは過去5年間で1番利用者数が多い。

●本来は移転先も併せて示すべき。

→申し訳ございません。今回は予想を上回る児童数の増加があり、昨年度末から検討を進めており、移転先を併せて説明をするべく調整をしていたが、なかなか調整がつかなかった。一方で、令和7年度の峯小学校の教室不足に間に合わせるためには、今年度コミハを終了し普通教室化の工事を実施しないといけないため、このタイミングで利用者の皆様に説明することに至った。

- 教育委員会の問題なのか。地域の問題なのではないか。保土ヶ谷区役所の関わりは。主体はどこなのか。
  - 学級の見込みと学校コミハは教育委員会が所管なので、教育委員会が主体でやっているが、保土ヶ谷区役所とも連携し、一緒に現地に行ったりもしている。
  
- 峯小は1、2教室不足する予想だが、コミハを教室化すると恐らく3教室分になると想定される。1教室分でもコミハを残して、児童とすみ分けることはできないのか。
  - 現在の見込みだと1教室足りないが、児童数的にあと数人増えると学級が増える学年もある。また、個別も来年度から1教室増える予想であり、推計の予想よりも教室が足りなくなる可能性がある。なお、峯小は特別教室や多目的室などの他の学校で整備されている教室がない状況でもあるため、今回は3教室全てを教室化したいと考えている。
  
- コミハの利用団体へのヒアリングは実施したのか。
  - していない。そこまでに至ることができなかった。
  
- コミハは峯小学校の通学区域内での整備になるのか。
  - 目安としては中学校区を一つの区域として、そこに1館という考えで整備をしている。
  
- 峯小コミハでは児童関係の取り組みを行っており、峯小学区からエリアが変わってしまうと子どもが通えなくなってしまうため、エリアは死守して欲しい。また、代替案もなく、廃止ありきだと感じている。具体的な移設案を今後示してほしい。
  
- 学校運営の都合上、コミハ廃止は理解できるが、地域活動と子どもの活動に優位性はないと思っている。コミハが余裕教室の活用で始まったという前提の話を出すと、現在の地域の活動を否定することになるため、やめていただきたい。また、昨年度末から検討していたのに、数か月前に説明するのは唐突すぎる。これは検討のプロセスに問題があったと思うので、見直していただきたい。  
代替施設について、あくまで個人的な案だが、企業はCSRという活動を推進しており、まちの開発はデベロッパーにも責任があるため、公共施設の整備も横浜市は言うべき。市としてはそのような検討もすべき。
  
- コミハの整備には費用がかかるが、市の予算はいつ提出されるのか。
  - 最終的に2月初旬頃に来年度の予算ということで発表するのに向けて調整している。コミハの普通教室化については予算化している。
  - 移転先が決まらないと予算がつかないのでは。
  - 内部調整の話になるが、今年度予算内の可能な範囲で調整をしていく。
  
- 移転先について、関係部署と調整中と記載してあるが、今具体的にどこを検討しているのか。
  - 宮田中学校、帷子小学校の校舎内でスペースの確保ができないか検討をしている。
  - 先ほど帷子小は余裕教室がなく難しいと仰っていたが。
  - 全く使用していない教室はないが、そのなかで何とか整備できないか検討をしている。

- 峯小コミハでは子どもたちの無料学習支援教室を運営している。保土ヶ谷区の3つのコミハでも行っているが、峯小コミハがその活動の始まりとなっている。峯小コミハだからこそできた活動。今後も継続して活動していきたいため、代替施設がないのには納得できない。また、説明会の日程に日曜日などの休日がないこと、一週間前の開催告知は運営としてどうなのか。**  
→今後説明会を開催する場合は、休日の開催も検討していく。峯小学校の敷地内で移設できるかという目途がたっていない状況。移設先を早急に示したいが、峯小学校内は厳しい状況。
- 峯小コミハでは、ふれあい発表会が開催されており延べ 80 人の参加があった。コミハがハブとなりつながりが生まれており、峯小コミハはただの貸し部屋ではない。このようなコミュニティは簡単に醸成できない。行政は支援すべき。**  
→場所だけでない人間関係なども大事にされているのは改めて承知させていただいたので、今後どういう形で支援させていただけるかはまた検討させていただきたい。
- 宮田中は、通学区域が西区にもまたがっているが、西区内でのコミハ整備は検討しているか。**  
→していない。学校で言うと、宮田中学校、峯小学校、帷子小学校の3校で検討している。
- 宮田中は敷地面積が大きいですが、仮設校舎を建てられないか検討したのか。**  
→学校敷地内でのコミハ単独での整備は行っていない。仮に増築となると、文科省等への審査が必要となり約5年の期間がかかる。今回は短期間での整備を目指しているため、校舎内の検討を進めてきた。
- 自分は夜間のみ利用だが、それであれば学校の運営と併用することはできないのか。**  
→学校開放という扱いになるが、それについてはきちんと移設先を示したうえで、前向きに検討をしていきたい。
- 峯小コミハで琴の指導をしている。日本の伝統文化を引き継いでくれる子どもたちが活動できる場所を継続してほしい。**
- 峯小の4階等に増築はできないのか。**  
→建築の都合上、不可能。
- 説明会をして意見を聞いたけど、工事は計画通り実施します。ということにならないようにしてほしい。**
- 子どもが峯小コミハを利用しており、以前は峯小コミハ利用の際はランドセルを一度自宅に置いてから行くというルールだったが、館長等の働きによりそのルールが変更された。また、峯小だと保護者の送迎が不要なため、場所が変更となった場合どうしようかと考えている。**
- 移転先として検討している学校のリアクションはどうだったか。**  
→断片的なことは申し上げられないので、この場でどういうやり取りをしたのかの詳細については、回答を控えさせていただきたいが、学校とは方向性を一致させようと努力している。

●本日の説明会で教育委員会としてどのように感じたか。

→それぞれの発言のなかで、コミハの重要性については十分理解した。受け止めてしっかりとした案を早急に示したい。

●利用団体の意見を聞く機会も今後必ず設けていただきたい。

→承知した。

●過去に同じような事例はあったか。

→ありません。

以 上
-----

## 議 事 録

内 容	峯小学校コミュニティハウスの今後について
日 時	令和5年11月2日（木）10時00分～11時30分
場 所	保土ヶ谷公会堂 1号会議室（25名参加）
出席者	教育委員会事務局 学校支援・地域連携課：課長（須山）、係長（高橋） 教育委員会事務局 学校計画課：課長（大塚） 保土ヶ谷区役所 地域振興課：課長（金子）、係長（渡邊）

(1) 教育委員会事務局よりあいさつ

(2) 教育委員会事務局より資料説明

(3) 質疑応答（前日と同じ質問については省略）

●推計について、令和12年度以降の予測はしているのか。

→推計は令和5年5月1日時点での0～5歳児の人数を確認し、その0歳児が入学するまでの6年先（令和11年度）までの予測しか公には公表していない。

●峯小の教室が不足することはいつ頃分かったのか。

→昨年の8～9月頃に完成した令和4年度の推計にて判明した。

●なぜ説明がここまで先延ばしになったのか。

説明が遅くなってしまい申し訳ございません。まずは、峯小学校の改修やプレハブ設置等ではどうかできないかを検討していた。また、併せて代替施設をご説明させていただきたいという思いで進めていた。ただ、工事等の状況等を踏まえると、移設先はまだ見つかっていない状況だが、まずは現時点でご説明をさせていただくために今回説明会を開催させていただいた。

●移設先の候補として、宮田中学校と帷子小学校を挙げていたが、両校へはお願いベースでの話になるのか。

→学校施設は学校長がどう使用するかの権限を持っているので、最終的に校長の承認は必要だが、同じ教育委員会という組織のため、学校と調整のうえ検討を進めている。

●20年前の学級規模と変わらないと思うため、教室が足りないことに対し疑問がある。

→20年前については手元に資料がないため、当時どのような配置等をしていただけたか分からない。

→教室の配置等を見直してもらうことはできないのか。

→現在、放課後キッズクラブの教室が1教室必須になっていたり、来年個別級の増加が予想されていたりと教室利用の見直しは難しい状況。

次項あり

- コミハは生涯学習の観点から始まったと推測されるが、横浜市のなかで生涯学習の担当課はあるか。**
  - 生涯学習文化財課がある。
  - この場にその課がない理由は何か。
  - 学校コミハは生涯学習と地域交流を進めて行くという二つの要素があるが、主の担当課を決める必要があり、そのなかで学校コミハは当課の学校支援・地域連携課が担当しているため。
  - 横浜市の生涯学習の指針を読んできたが、本件はその趣旨と反しているように感じる。**
  - 横浜市の指針も踏まえて、宮田中学校区域の中で、皆様が活動できる場をしっかりと確保していかないといけないと考えている。
  
- 資料では峯小コミハの廃止は3月となっているが、それまでに返事をいただけるという認識でいいか。また、本件はホームページ等で一般市民に対し公表するのか。**
  - 峯小コミハを閉じる前に移設先を提示させていただきたい。また、市のホームページへの掲載については一度持ち帰らせていただければと思うが、説明会に来られなかった方もいるので、しっかりと状況を周知していかねばいけないと考えている。
  
- 学校以外のかるがもや区の会議室等も検討していただければ。**
  - 移設先をしっかりと示したうえで、そのような代替施設や学校開放の案もセットで説明していきたい。
  
- 峯小学校での利用を希望だが、学校開放で峯小学校を利用することはできないか。**
  - 学校開放では、児童が利用している普通教室の利用はできないため、体育館や校庭、特別教室等での利用を検討していく。
  
- 今後について、余りにも抽象的であり、利用者が今後の対応を検討できず不安。そのため、具体的に次の説明会をいつ頃開催するのかがはっきりと教えて欲しい。活動の移行期間として3か月程度は必要なため、希望としては年内に開催いただきたい。**
  - 確約的な話はないが、目標としては、開催の案内を郵送で年内には一度お送りしたいと考えている。ただ、しっかりと案を確立させて示さないといけないと考えているので、説明会を年内に開催できるかは現時点では明言できない。
  
- 各団体は、活動スケジュールを年間で組んでいるため、早く教えていただかないとその調整ができない。**
  - 今はひとつの目途として今年度末までとさせていただいているが、相談させていただきながら、最終的なコミハ閉鎖時期を決めていきたい。